



今回は **1 学年課題研究入門講座の取組**についてお伝えします。

◇課題研究入門講座：刃物セミナー② 長谷川刃物株式会社 長谷川尚彦氏 講演

日 時：平成 28 年 10 月 4 日(火) 15:15~16:05 **場 所：**本校体育館

第 1 学年では、課題研究入門講座として、これまで中京大学の坂田先生のご指導を受けながら、自分たちで課題を発見し、答えのない問いに、自分たちなりの答えを見つける活動を続けてきました。11 月のクラス内発表に向けて、「関の刃物を世界に広める」というテーマに全ての 1 年生が取り組んでいます。その一環として、9 月の福田克則氏の講演に続き、地元の長谷川刃物株式会社代表取締役社長でいらっしゃる長谷川尚彦氏の講演を聴きました。

◇ 講演会の様子



↑ 社長は居合の達人



↑ 誰にでも優しいハサミ「カスタ」の紹介

ユニバーサルデザインの考え方を知り、それを製品開発に取り入れたそうです。その際の試行錯誤の様子に生徒は感銘を受けていました。

◇ 生徒の感想

・カスタのように、刃物を使う全ての人のこと考え、軽い力でも切れるハサミなどがあることがわかった。一つの商品を作り上げるために試行錯誤を繰り返し、長い時間をかけていることに感銘を受けました。SGH に生かしたいです。

・刃物は使い方を誤るとケガをしてしまうけど、安全に使えるデザインを考えていかなければならないということが分かった。

・世界でも有名な関の刃物のことであっても、私達関市民が知らないことがたくさんあったから、まずは私達がよく知るべきだと思った。自分が使っている道具が近所の企業で作られていることを知って驚いた。

・今回の講座を聞いて、クオリティがいくら高くても、廉価品が出回ると差別化をしないと売れないと分かりました。打ち方の工夫も大切だけれども、造りの工夫も大切だと分かりました。

・一口にハサミといってもたくさんの種類があることがわかった。海外の安い刃物に負けないように、特徴のある製品を作るのはとても大変だなと思いました。